

PRESS RELEASE

〒618-0071 京都府乙訓郡大山崎町銭原5-3 TEL 075-957-2364

開館30周年記念
山本爲三郎・河井寛次郎没後60年記念
共鳴

河井寛次郎 × 濱田庄司

Resonance: Kanjiro Kawai x Shoji Hamada
—From the Tamesaburo Yamamoto Collection
Commemorating the 30th Year of the Museum's Opening and the 60th Year of the Death of Yamamoto and Kawai

山本爲三郎コレクションより

2026年3月20日〔金祝〕—9月6日〔日〕

前期：2026年3月20日（金祝）—5月31日（日）
後期：2026年6月3日（水）—9月6日（日）※前後期で部展不替あり

会場：アサヒグループ大山崎山荘美術館



30th since 1996

訪れるたび、
心がうごく

上：山本爲三郎没後60年記念
下：濱田庄司没後60年記念
（株）アサヒグループホールディングス提供

上：河井寛次郎「自宅庭 1941年頃」（河井寛次郎記念館 提供） 下：濱田庄司「益子 1940年頃」（株式会社 濱田窯 提供）

朝日麦酒株式会社（現アサヒグループホールディングス株式会社）初代社長・山本爲三郎^{ためさぶろう}（1893-1966）は、民藝運動をその初期から篤く支援していました。当館所蔵の山本爲三郎コレクションは、民藝運動の中心的人物であった河井寛次郎（1890-1966）と濱田庄司（1894-1978）の作品が主要な部分をしています。

東京高等工業学校（現東京科学大学）で出会い、京都市陶磁器試験場でともに研鑽を積んだ河井と濱田は、1926年、思想家・柳宗悦らと民藝運動を創始、その後も生涯を通じて深い親交を結びました。若き魂を共鳴させた二人の人生をたどりながら、それぞれの道を追求しつづけた両者の作品の魅力をご紹介します。

【河井寛次郎（1890-1966）】

現在の鳥根県安来市生まれ。東京高等工業学校（現東京科学大学）窯業科で濱田庄司と出会い、柳宗悦らとの交流からともに民藝運動を創始。京都市五条坂を拠点に作陶、生涯にわたり多様な作品を発表した。

【濱田庄司（1894-1978）】

現在の神奈川県川崎市生まれ。東京高等工業学校（現東京科学大学）窯業科で河井寛次郎と出会う。1920年バーナード・リーチと渡英、現地で作陶し、帰国後は栃木県益子を拠点に民藝運動を推進した。

【本展に関するお問い合わせ先】

アサヒグループ大山崎山荘美術館 TEL 075-957-2364

FAX 075-957-3126

広報チーム：竹中^{たけなか} 優香^{ゆうか} ・ 池田^{いけだ} 恵子^{けいこ} ・ 家田^{いえだ} 真理^{まり} 担当学芸員：もりた 森田^{もりた} あきこ^{あきこ} 明子

【開催概要】

展覧会名： 開館30周年記念 山本爲三郎・河井寛次郎没後60年記念
 「共鳴 河井寛次郎×濱田庄司 —山本爲三郎コレクションより」
会 期： 【前期】2026年3月20日（金・祝）—5月31日（日）
 【後期】2026年6月3日（水）—9月6日（日） ※前後期で一部展示替えあり
休 館 日： 月曜日（ただし、3月30日、4月6日、5月4日、7月20日は開館）、
 6月2日（火）、7月21日（火）
開館時間： 午前10時—午後5時（最終入館 午後4時30分）
会 場： アサヒグループ大山崎山荘美術館
 〒618-0071 京都府乙訓郡大山崎町銭原5-3
 JR山崎駅、または阪急大山崎駅より徒歩約10分
TEL:075-957-3123（総合案内）
[公式ウェブサイト] <https://www.asahigroup-oyamazaki.com>
[開館30周年記念サイト] <https://www.30th.asahigroup-oyamazaki.com>
主 催： アサヒグループ大山崎山荘美術館
後 援： 京都府、大山崎町、大山崎町教育委員会、京都新聞、読売新聞京都総局、
 朝日新聞京都総局、毎日新聞京都支局、産経新聞社京都総局、NHK京都放送局、
 エフエム京都
入 館 料： 一般 1,500円（1,400円）、高大生 700円（600円）、中学生以下無料
 障がい者手帳・ミライロID をお持ちの方 500円 [付添者1名まで無料]
 ※（ ）内は20名以上の団体の場合 ※価格は税込
作品点数： 前後期各約160点、全約210点
展覧会URL： <https://www.30th.asahigroup-oyamazaki.com/exhibitions/kawai-hamada>



A4チラシ表裏ビジュアル

【展覧会関連イベント】

① 講演会「河井寛次郎と濱田庄司 民藝運動とモダニズムのあわい」

二人が陶磁器試験場時代と民藝運動の初期を過ごした大正・昭和初期の京都は、新旧のものがせめぎあう時期にありました。京都という地域を絡めながら、河井寛次郎や濱田庄司の作陶やライフスタイルについて、エピソードを交えたお話をいただきます。

日 時 : 2026年5月9日(土) 午後1時30分—午後3時
講 師 : 濱田琢司(はまだ たくじ)氏(関西学院大学文学部教授)
会 場 : 大山崎ふるさとセンター(京都府乙訓郡大山崎町字大山崎小字竜光3)
※阪急大山崎駅から徒歩1分、JR山崎駅から徒歩3分 ※美術館が会場ではありません
定 員 : 50名(要申込、先着順)
参 加 料 : 無料
申込フォーム : <https://form.run/@asahibeer-kawai-hamada-lecture>

※電話・メールによる受付はいたしません ※定員に達し次第、受付終了いたします
※受付終了時は、当館ウェブサイトでお知らせいたします



② 「孫が語る、河井寛次郎×濱田庄司」

河井寛次郎、濱田庄司の孫にあたる鷺珠江氏、濱田友緒氏をお招きし、両氏によるギャラリートークと対談を行います。閉館後の美術館で、特別な夜のひとときをおたのしみください。

日 時 : 2026年5月23日(土) 午後5時—午後7時
講 師 : 鷺珠江(さぎ たまえ)氏(河井寛次郎記念館学芸員)
濱田友緒(はまだ ともお)氏(陶芸家・濱田窯代表・濱田庄司記念益子参考館館長)
会 場 : アサヒグループ大山崎山荘美術館
定 員 : 26名(要事前申込、抽選)
参 加 料 : 4,000円(入館料別・ワンドリンク代含む)
申込フォーム : <https://form.run/@asahibeer-kawai-hamada-talk>

※申込期間 2026年4月18日(土)まで ※当選者のみメールでご連絡いたします



③ 「寛次郎のうつわでたのしむ茶話会」

島根県出身の河井寛次郎は日常的にお茶をたのしみ、抹茶碗も多く制作しました。河井作の抹茶碗で、彼が愛したお茶菓子とともに、河井家の飾らない「家庭茶」を再現します。作法はいりません。平服でご参加ください。

日 時 : 2026年7月31日(金) ①午前10時—午前11時30分 / ②午後1時—午後2時30分
講 師 : 鷺珠江氏(河井寛次郎記念館学芸員)
会 場 : アサヒグループ大山崎山荘美術館 本館2階喫茶室
参 加 料 : 4,500円(入館料別)
定 員 : 各回10名(要事前申込、抽選)
申込フォーム : <https://form.run/@asahibeer-kawai-hamada-tea>

※申込期間 2026年6月30日(火)まで ※当選者のみメールでご連絡いたします



【会期中のイベント】

《各ツアーについてご注意》

※電話・メールによる受付はいたしません

※申込期間終了後、当選者のみメールでご連絡いたします

① 「山荘で嗜むニッカウキスキーの夕べ」

閉館後の美術館喫茶室にて、ウイスキーセミナーを開催します。暮れなずむ夕景から夜景へと変化するテラスからの眺望とともに、大山崎山荘を造った加賀正太郎ゆかりのニッカウキスキーをお楽しみください。

※飲酒をともなうイベントのため、20歳未満の方、当日車両を運転する方、妊娠中、授乳中の方はご参加いただけません

日 時：2026年4月4日（土） 午後5時—午後7時30分

参加料：10,000円（入館料含む）

定 員：12名（要事前申込、抽選）

申込フォーム：<https://form.run/@asahibeer-whisky> ※申込期間 2026年2月28日（土）まで



② 大山崎山荘ツアー（館内一部の写真撮影可）

築100年を超える大山崎山荘を解説つきでご案内します。ツアー内では、通常撮影不可の館内を特別にお撮りいただくこともできます。開館前の静かな時間に、朝の光が降り注ぐ大山崎山荘の美しい意匠と風景をご堪能ください。

日 程：2026年3月25日（水）、5月27日（水）、8月22日（土） 各日午前9時—午前10時30分

参加料：無料、ただし美術館入館料は別途必要

定 員：各日20名（要事前申込・抽選）

対 象：中学生以上

申込フォーム：<https://form.run/@asahibeer-phototours> ※申込期間は申込フォームをご確認ください



③ 大山崎山荘ツアー（山荘を感覚でたのしむ）

ガイドの解説とあわせて、体の感覚を使って建物と作品を鑑賞します。開館前の山荘内にひろがる音や光・質感など、視覚だけではない特別な鑑賞をおたのしみください。

日 程：2026年6月24日（水）、26日（金） 各日午前8時45分—午前10時

参加料：無料、ただし美術館入館料は別途必要

定 員：12名（要事前申込、抽選）、付添者を含む

対 象：中学生以上

申込フォーム：<https://form.run/@asahibeer-kankakutour> ※申込期間 2026年5月19日（火）まで



④ ファミリーツアー

今から100年ほど昔に、大山崎山荘が造られました。当時の姿が描かれた絵や古写真をもとに、昔と今の違いを探しながら、美術館の庭園や建物を解説つきで巡ります。

日 程：2026年7月25日（土）、8月8日（土） 各日午前9時—午前10時30分

参加料：無料、ただし美術館入館料は別途必要

定 員：15名（要事前申込、抽選）、付添者を含む

対 象：小・中学生と保護者

申込フォーム：<https://form.run/@asahibeer-familytour2026> ※申込期間 2026年6月30日（火）まで



【カフェ企画】



開館30周年記念カフェ企画「あのスイーツをもう一度」

内 容 : 「リーガロイヤルホテル京都」ご協力のもと、これまで展覧会にちなんだオリジナルスイーツメニューを提供してきました。
開館30周年を記念し、もう一度食べたい！とのよび声高いスイーツが再び登場します。
企画展ごとにメニューが変わりますので、どうぞお楽しみに。

会 場 : 当館喫茶室

※料金・スイーツ等詳細は後日ウェブサイト（ <https://www.asahigroup-oyamazaki.com/guide/rest> ）にて公開予定です
※喫茶室の利用には美術館入館料が必要です

【広報画像について】

本展の広報画像全5点は、展覧会ウェブページでもご紹介していますので、ご確認ください。

<https://www.asahigroup-oyamazaki.com/exhibition/kawai-hamada/>

①



河井寛次郎《海鼠釉筒描花文筥》

1943年頃 当館蔵

②



河井寛次郎《筒描花文鉢》

1953年頃 当館蔵

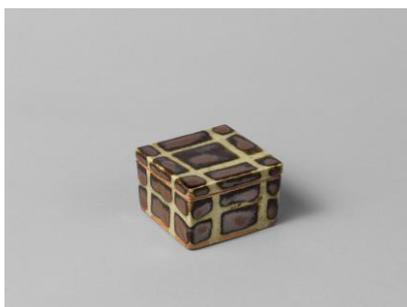
③



河井寛次郎《青磁釉辰砂差瓶》

1924年頃 当館蔵

④



濱田庄司《柿釉蠟抜格子文筥》

1970年頃 当館蔵

⑤



濱田庄司《青柿掛分白流掛大鉢》

1960-70年代 当館蔵

⑥



濱田庄司《鉄釉黍文瓶》

1940年頃 当館蔵

【広報画像使用・取材申請について】

当企画展の画像使用や取材の申請は、当館ウェブサイト「プレスリリース」内の
広報画像・取材申請フォームからお願いいたします。追って広報担当よりご連絡いたします。

広報画像・取材申請フォーム：<https://form.run/@asahigroup-kawai-hamada-pr> →



※今後プレスリリースは、メールでのご案内に切り替えさせていただきます。

ご希望の方は下記のフォームより、メール配信のご登録をお願いいたします。

プレスリリース メール配信登録：<https://form.run/@oyamazaki-pressrelease> →

